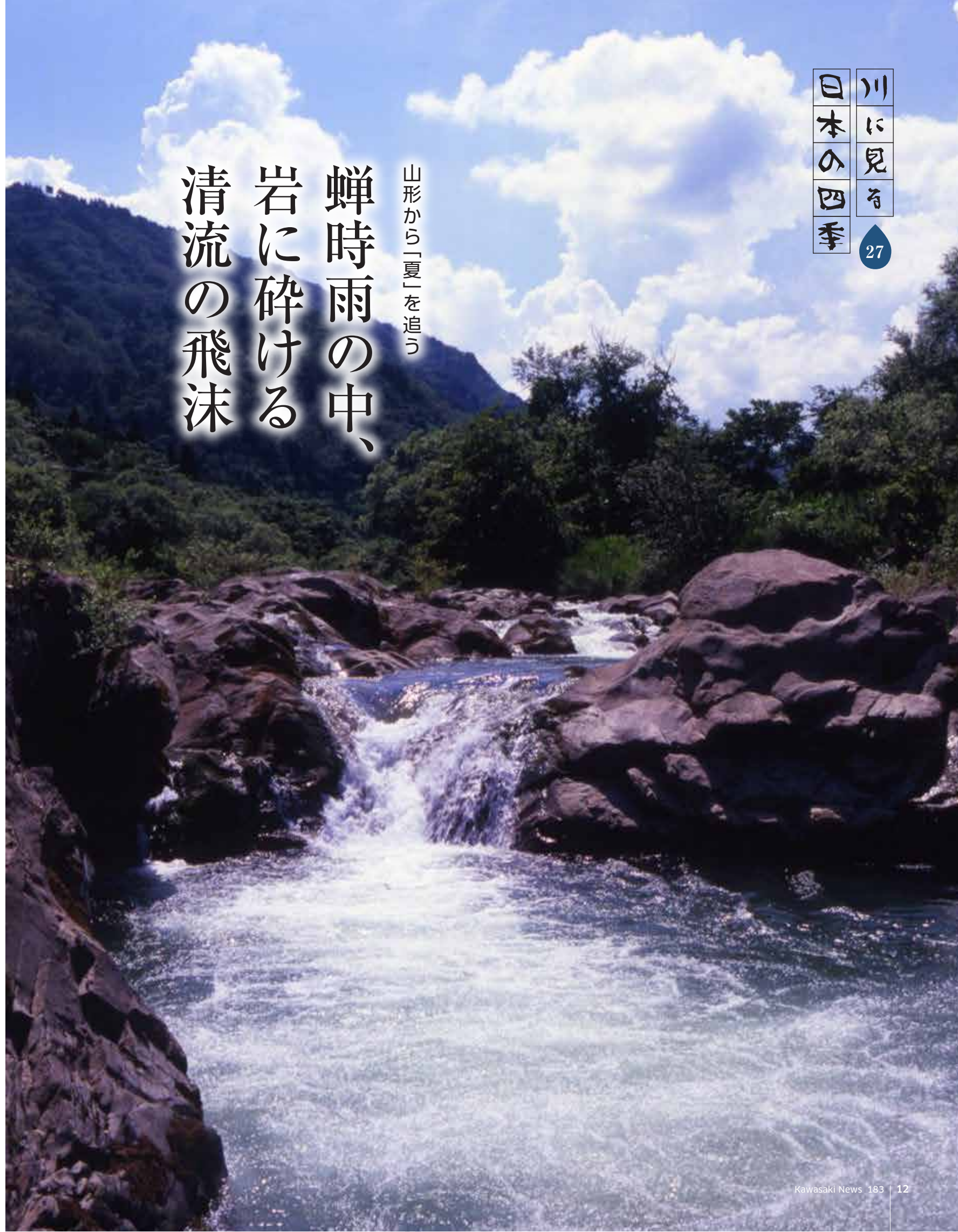


# 蝉時雨の中、 岩に砕ける 清流の飛沫

山形から「夏」を追う



朝、山形県米沢市から車を走らせる。しばらくして市街地を抜けると青々とした田園地帯になり、その中を最上川の支流・置賜野川（おきたまのかわ）が流れている。古くから農業用水として利用されてきた恵みの川だ。一方で、上流は急峻な地形のため、何度も大洪水に見舞われた歴史を持っている。大自然の豊かさと怖さを感じながら、清流が勢いよく岩に砕ける一瞬にシャッターを切った。

置賜野川から本流の最上川へ出て、上流へ向かう。最上川沿いを走る国道287号の横には一面のりんご畑が広がっている。最も水質が綺麗な五百川峡谷辺りになると、カヌーを楽しむ愛好家たちで賑わっていた。

北上すると、今度はさくらんぼ畑が現れた。西川町に入ると、寒河江川（さがえがわ）が流れている。こちらは東北を代表するフライフィッシングの人氣溪流だそうだ。

寒河江川の上流には、巨大な噴水で有名な月山湖がある。そこを左折して大井沢に入ると、ニジマスの釣り場になる。釣り人のいない川岸を分け入り、撮影スポットを探す。

夏空の下、魚影が岩陰に走る。清流に足を入れると、水は予想以上に冷たい。蝉の声と水音が混ざり合う中、陽光にきらめく飛沫にシャッターを切り続ける。足先がジンと痺れてくる。岸辺に出ると汗が噴き出し、蝉時雨がいつそう大きくなったような気がした。



【写真右】山形県長井市で撮った置賜野川。近くでは家族連れが水遊びを楽しんでいた。上流の長井ダムは、新緑や紅葉シーズンに美しい景観を見せてくれる。  
【写真左上】最上川の五百川渓谷。変化に富んだ瀬があり、水量を増した流れはなかなかの迫力だ。  
【写真左中】早朝なので、寒河江川はまだ川霧に包まれていた。川岸の花たちは、夜露に濡れ喜んでいるようだった。  
【写真左下】寒河江川の上流、大井沢。人気の釣り場で、ルアーやフライを楽しむ人たちが多い。手ですくって飲めそうな、美しく透き通る清流だった。

